

## 第19回 自治体アンテナショップ情報交換会 会次第

日時：令和元年8月20日（火）13：30～15：40

場所：早稲田大学日本橋キャンパス ホール

**13：30～13：35 【開会・挨拶】**

一般財団法人地域活性化センター 理事長 椎川忍

**13：35～14：20 【基調講演】（45分）**

講師：古川 誠 氏

（OZ magazine 統括編集長）

**14：20～15：05 【事例発表】（1団体 15分×3団体）**

①ぐんま総合情報センター（愛称：ぐんまちゃん家）

発表者：町田 裕之 氏

（ぐんま総合情報センター 所長）

②福扇華（ふくおか）

発表者：黒瀬 達矢 氏

（福岡県農林水産部 福岡の食販売促進課 主任主事）

③とっとり・おかやま新橋館

発表者：高橋 和也 氏

（鳥取県東京本部 主幹）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 閉会 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

**15：05～15：40 【名刺交換会】**

## 出演者・出演団体のご紹介（登壇順）

### ○古川 誠 氏

（O Z magazine 統括編集長）

1975年埼玉県生まれ。1998年スターズ出版入社。販売部の営業を経て2001年よりオズマガジン編集部にも所属。2008年より、同誌の編集長に就任。2018年より現職。

オズマガジンでは女性をターゲットに、誌面やweb等を通じて日常にある身近な「よりみち」を提案している。また、オズモールでは、アンテナショップの特集やアンテナショップとのコラボイベントも開催。



### ○ぐんま総合情報センター（ぐんまちゃん家）（出店自治体：群馬県、所在地：銀座）

ぐんまちゃん家は、群馬の魅力発信拠点として群馬県の名産・特産品の販売に加え、観光案内や移住相談、群馬県への誘客のためのマスコミ・エージェントへの情報提供・取材支援を行っています。

さらに、2018年には銀座7丁目に移転し、リニューアルオープン。

リニューアル後は、新たに「食」を通じた群馬県の魅力発信のため、県産果物を使ったスイーツの販売や県産食材を使った料理の提供（レストラン「銀座つる」）を行っています。おなじみの定番商品から伝統工芸品やシルク製品、県産食材を使用したスイーツ・料理まで、群馬県の魅力を取り揃えています。



### ○ 福扇華（ふくおか）（出店自治体：福岡県、所在地：麹町）

2018年11月、東京都千代田区麹町の「住友不動産ふくおか半蔵門ビル」1階に福岡県を体感できるアンテナレストラン「福扇華（ふくおか）」をオープン。レストランでは「博多和牛」や天然マダイ、旬の野菜など、福岡の美味しい食材をふんだんに使った料理のほか、イチゴ「あまおう」や甘柿「秋王」など四季折々のフルーツ、さらに県内の酒蔵で造った個性豊かな県産酒が楽しめます。内装には、博多織や久留米餅、大川組子などの伝統工芸品や京築ヒノキなどの県産材を、また器には、小石原焼や上野焼を使用し、店内の至



る所で福岡県を感じていただけます。さらに店内入口近くには伝統工芸品や八女茶などの特産品を販売する物販コーナーを設置しています。この「福扇華」から、食をはじめ物産や観光、歴史、文化など福岡の魅力を総合的に発信します。

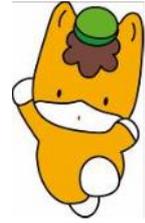
### ○ とっとり・おかやま新橋館（出店自治体：鳥取県・岡山県、所在地：新橋）

岡山県名産の「もも（桃）」、鳥取県名産の「なし（梨）」、そして「おもてなし」する気持ちを込めて「ももてなし」をコンセプトに2014年から両県共同でアンテナショップを運営しています。

2019年4月のリニューアルオープンでは、現地生産者の顔が見える新鮮野菜等を揃えたマルシェコーナー、鳥取・岡山での就業や移住定住への窓口相談等を行う移住・しごと相談コーナー、シェアオフィスの提供で首都圏の販路開拓を行っている企業を支援するワーキングスペースを新設しました。そして今までどおり、販売店舗では鳥取・岡山両県で生産された様々な特産品を販売し、飲食店舗では両県の素材を活かした料理や地酒を楽しむことができます。



# ぐんま総合情報センター (ぐんまちゃん家)について

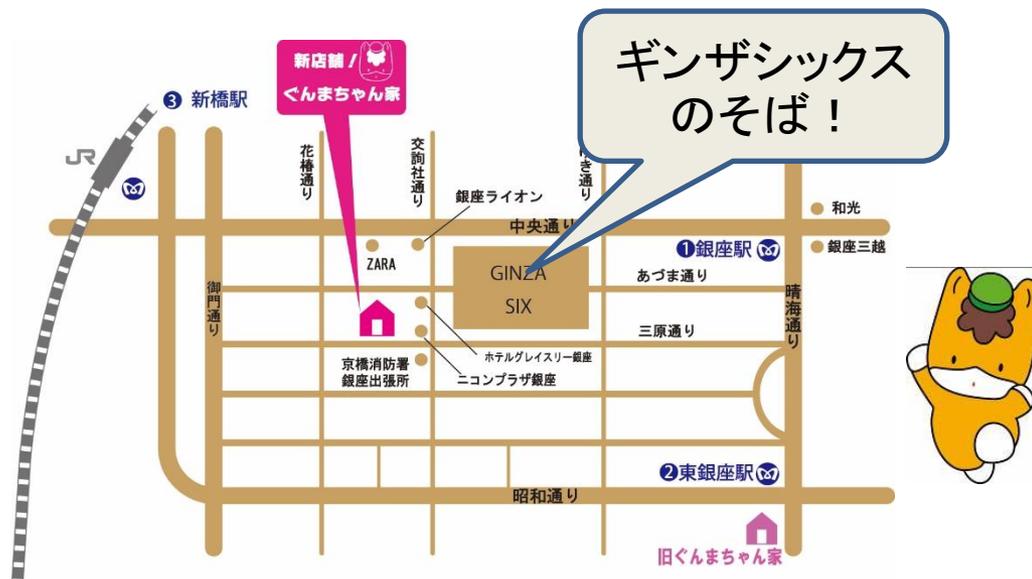


ぐんま総合情報センター

# ぐんま総合情報センター(ぐんまちゃん家)が歌舞伎座前から移転 平成30年7月25日(水)、銀座7丁目にグランドオープン!!



【外観 あづま通り】



## ■住所

東京都中央区銀座7-10-5 The ORB Luminous 1・2階

## ■営業時間

- ・センター事務室(2階)  
9:00~19:15
- ・物産販売(1階) 11:00~20:00
- レストラン「銀座つる」(2階)  
ランチ11:30~ デイナー18:00~  
日・祝はランチのみ

# ぐんま総合情報センターの事業について

## 事業の目的

県内市町村や関係団体と連携を強化し、マスコミへの情報発信により、観光客の誘客促進やイメージアップに集中的に取り組む。  
また、(株) 田園プラザ川場に物産販売や飲食店運営を委託し、首都圏へのPRや食のイメージアップを図る。

## 概要

### ①各市町村の観光素材発掘

2020年は春DCや夏のオリ・パラなど群馬県を国内外にPRする絶好の機会であることから、35市町村のPR素材を発掘し、それぞれに合った媒体向けに情報発信を行う。

### ②店舗等での魅力発信

市町村主催による観光PR、地元物産品・野菜の販売、体験講座など群馬の魅力を紹介する各種イベントを実施する。

### ③都内プロモーション支援

旅行エージェント・観光関係メディア、教育旅行関係者に対し、群馬の観光について、ツアー造成、新聞・雑誌掲載など働きかけるほか、マスコミ現地取材会により、国内外からの誘客促進を図る。

### ④都内イベント等でのPR

都内イベント参加や出張ぐんまちゃん家により、各観光地や物産の魅力を積極的にPRする

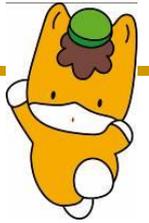
### ⑤群馬への移住定住支援

ぐんま暮らし支援センターと連携し、市町村の移住定住情報の提供

## 事業イメージ



# ぐんまちゃん家 新店舗 1階のポイント



## シルクコーナー

・歴史と伝統ある群馬県産シルクを使ったネクタイ、ストールなどを販売

## スイーツ・県産野菜

・プレミアムヨーグルトやチーズ、糖度が高く美味しいイチゴやトマトなど群馬県産品のこだわり物産の販売

## 多目的スペース

・魅力発信スペースとして、市町村主催のイベント実施、体験イベント開催等のほか、県内観光地などの映像をデジタルサイネージ等で紹介



【シルクコーナー】



【スイーツや県産野菜の販売】



【多目的スペース】



上州和牛

・日本を代表する高級和牛「上州和牛」を使ったすき焼き、炭火焼き、しゃぶしゃぶをコース料理でご提供。また、アラカルトメニューもご用意し、多様なニーズにも対応。

地場産品の提供

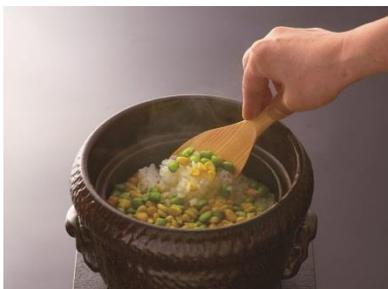
・県内の野菜や県産米、みそなどの調味料にこだわり、付加価値の高い料理を提供



【店内】



【ディナーコース】



【釜焼きご飯・デザート】



【ランチコース】

# 福岡県アンテナレストラン

ふく お か

## 「福扇華」について



令和元年8月20日  
福岡県農林水産部  
福岡の食販売促進課

# そもそも・・・ 福岡県の取組

○福岡県には美味しい食べ物(食材)が  
豊富にあることが**意外と知られていない**

そして、

○外食・中食事業者は肉・魚・野菜・酒等といった  
地域食材の**一体的な提案を求めている**



平成29年4月、農林水産部内に  
「福岡の食販売促進課」新設



あまおう



いちじく (とよみつひめ)



福岡の八女茶



博多なす



博多和牛



はかた地どり



一本槍



マダイ



外食・中食事業者への  
販売促進

県産食材の使用  
(ex.福岡フェアの開催)

# 福岡の食販売促進課の目指すところ

福岡県農林水産業振興基本計画における5つの施策の柱の1本目  
『県産農林水産物の販売・消費を拡大します』

- 農林水産物と日本酒等の加工食品を外食・中食事業者等に一体的に販売促進し、「福岡の食」の認知度を高め、**販売・消費拡大**を図ります。
- 販売促進活動を通じて、実需者のニーズを生産者や製造事業者と共有し、改善を重ねることで、**商品力**を高めていきます。
- 県農林水産業の競争力強化による**所得の増大**を図ることはもとより、**食品産業や観光の振興**につなげていきます。



福岡県農林水産業振興基本計画

福岡県農林水産業振興基本計画

魅力あふれる農林水産業と  
活力あふれる農山漁村を目指して



平成29年3月

福岡県農林水産業振興基本計画(H29.3)  
「県産農林水産物の販売・消費の拡大」

# 外食・中食事業者への 販売促進

これまで、県東京・大阪事務所内に  
福岡よかもん・よかところプロモーションセンターを  
設置し、働きかけを実施



更なる裾野の拡大

アンテナレストラン「ふくおか福扇華」の開設

# 福扇華

ふくおかの

## 開設

平成30年11月

## 住所

〒102-0083

東京都千代田区麹町1丁目12番1

住友不動産ふくおか半蔵門ビル1階

## 営業時間

平日：昼の部11:30～15:00

夜の部17:00～22:00

土曜：夜の部のみ、日・祝：店休日



# 福扇華

ふせんがわ

## 運営方法

民間委託(トリゼンフーズ株式会社)

## 客席数

76席(テーブル席44席、個室5部屋:2、4、6、8、12人可)

## その他

店内物販コーナーで県産品(農林水産物、加工品、工芸品)を販売



# 4つのコンセプト

**「福岡の食」を堪能**

**「福岡の匠の技」を  
体感**

**福岡県の特産物を  
販売**

**オープンスペース  
の活用**

-4つのコンセプト-

# ①「福岡の食」を堪能

県産食材を  
使ったメニュー



玄界灘の天然真鯛  
しゃぶしゃぶ



博多和牛せいろ蒸し



懐石「夏の宴」  
⇒博多和牛や県産鮮魚等を  
ふんだんに使用

-4つのコンセプト-

## ②「福岡の匠の技」を体感

伝統的工芸品や  
県産材を  
用いた内装



福岡県の伝統的工芸品  
を店内随所に展示



器やメニューブックにも  
伝統的工芸品を使用



県産材を壁や扉、  
机等にふんだんに使用

-4つのコンセプト-

## ③福岡県の特産物を販売

物販コーナーを  
設置



店舗入口にて  
物販コーナーを設置



伝統的工艺品も販売



福岡の食を使った  
加工品等を販売

-4つのコンセプト-

## ④オープンスペースの活用

オープンスペース  
を活用した  
福岡の魅力発信



約80㎡の  
オープンスペース



博多人形絵付け体験



八女茶の  
すすり茶体験

# 「福扇華」と関連した取組

## 課題

- ・福岡から首都圏への流通が少ない食材は宅配便対応が中心で、物流コスト高騰の影響大。
  - ・宅配業者の運賃値上げや配送制限はアンテナレストランや外食事業者にとって大きな負担。
- 宅配便だけに頼らない安定した物流の構築が必要。

トラック台数減少

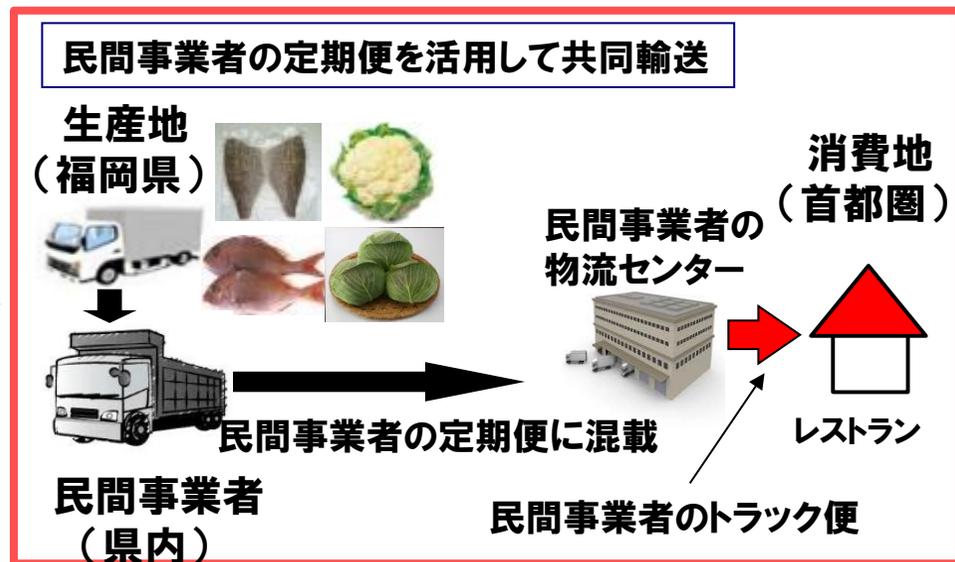
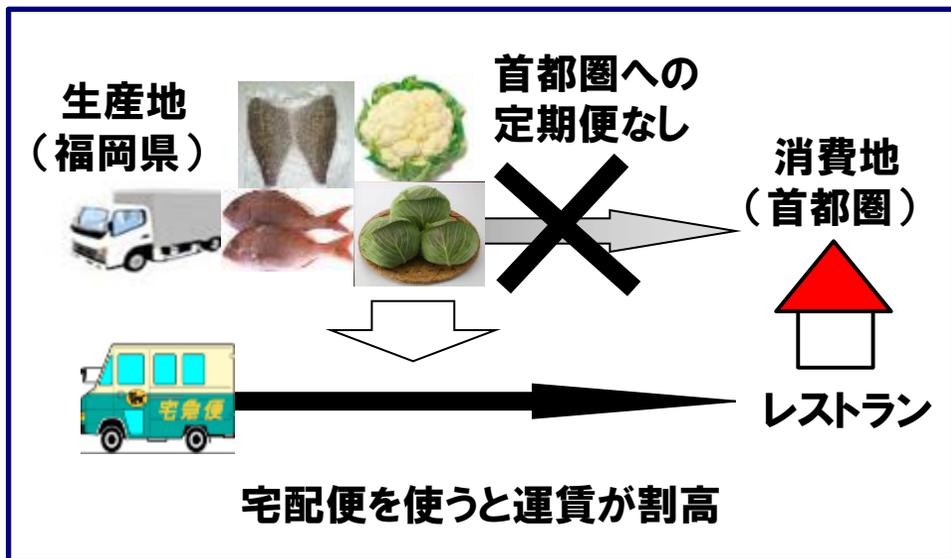
ドライバー高齢化

人手不足

## 打開策

新たにトラック(ドライバー)を確保し、ルートを新設することは非現実的。  
既存の物流網の中で、共同輸送を図り、混載率を高める取り組みが必要。

## 物流イメージ

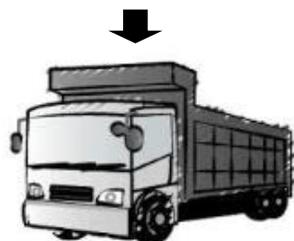


## 首都圏に定期便を持つ民間事業者の定期便を活用して共同輸送

産地から送り出された食材を民間事業者の物流センターに食材を運んだ後、民間事業者の既存物流便に混載し、首都圏の外食事業者等に配送

## 今後の目標

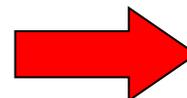
生産地  
(福岡県)



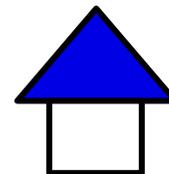
民間事業者  
(県内)

民間事業者の定期便に混載

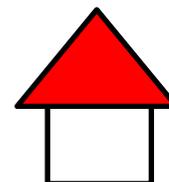
民間事業者の  
物流センター



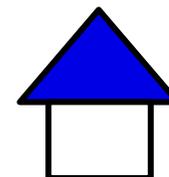
消費地  
(首都圏)



県産食材を  
使用する事業者



福扇華



県産食材を  
使用する事業者

- ①「福扇華」への配送を通じて、  
物流システムを実証事業により構築 ※実施中
- ②「福扇華」以外の県産食材を使用する事業者への  
配送を増やし、スケールメリットを活かしたコストダウン

輸送コストの低減により、新たな首都圏への流通や販路拡大を実現

# 今後の取組

## 新規顧客の取り込み、既存顧客のリピーター化

- ・有名料理人が監修した特別メニューの提供
- ・福岡の食を体感する会の開催 など

## 関係機関との連携等による福岡の魅力発信

- ・九州各県のアンテナレストランと連携したフェアの開催
- ・県内市町村等が実施する  
プロモーションイベントへの支援(補助金) など

その他、様々な取組を実施

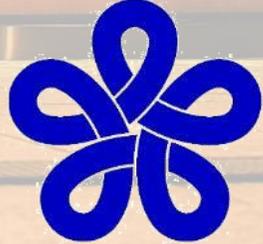


福  
扇  
華

ふ  
せん  
か



福  
岡  
県



# とっとり・おかやま新橋館



鳥取県東京本部 主幹 高橋 和也 令和元年8月20日

# 設置趣旨・目的



## 【設置趣旨・目的】

- 首都圏の消費者に、山陰と山陽の異なる気候風土や歴史文化に培われた両県産の特色ある食材・食品その他の特産品を一堂に展示・紹介することにより、相乗的に顧客満足度の向上と産地側のアピール力向上を図る。
- アンテナショップを首都圏における両県産品や観光、移住等に関する総合的な情報受発信拠点として、観光客入込数の増加や県産品の販路拡大、I J Uターンを促進する。

# 施設の位置・設置の概要

## アンテナショップの位置

- ◆東京メトロ銀座線 新橋駅直結  
JR新橋駅銀座口より徒歩1分  
の好立地



## 設置の概要

- ◆店名 とっとり・おかやま新橋館  
(愛称：ももてなし)
- ◆所在地 東京都港区新橋一丁目  
11番7号 新橋センター  
プレイス1、2階
- ◆開館日 平成26年9月28日(日)  
**(リニューアルオープン  
平成31年4月26日(金))**
- ◆面積 941.35㎡  
(1階354.01㎡、2階587.34㎡)
- ◆定休日 年末年始(12/31~1/3)
- ◆運営  
1階物販店舗、2階飲食店舗は、  
民間事業者への業務委託
- ◆管理  
鳥取県・岡山県共同アンテナショップ°運営協議会  
※両県から正規職員等を駐在させ、アンテナ  
ショップ全体の管理運営を行う組織

# 運営状況

## 1 入館者数（平成30年度）

491,707人（対前年度：97.1%）

年 度	入館者数（対前年度）
平成26年度	279,157人
平成27年度	492,611人
平成28年度	498,983人(101.3%)
平成29年度	506,369人(101.5%)
平成30年度	491,707人( 97.1%)

## 2 売上金額（平成30年度）

374,789千円（対前年度：102.6%）

年 度	物販店舗(対前年度)	飲食店舗(対前年度)	合計(対前年度)
平成26年度	130,852千円	45,964千円	176,816千円
平成27年度	261,245千円	95,241千円	356,486千円
平成28年度	262,167千円(100.4%)	86,134千円( 90.4%)	348,301千円( 97.7%)
平成29年度	270,638千円(103.2%)	87,957千円(102.1%)	358,595千円(103.0%)
平成30年度	277,638千円(102.6%)	97,151千円(110.5%)	374,789千円(104.5%)

# リニューアルの経緯①

## 【平成29年度】共同アンテナショップの取組の効果測定

平成31年3月末に運営事業者との業務委託と不動産賃貸借契約の期限到来を踏まえ、開館後3年経過する平成29年度に、共同アンテナショップのこれまでの取組について効果測定を実施。

### 【共同した取組の成果】

- 共同運営で良好な立地条件に広い施設面積を確保できたことにより、物販・飲食店舗、観光・移住の相談、賃貸オフィス、催事スペース等の情報発信・販路開拓の拠点として機能を発揮
- 日本海側と瀬戸内側という異なった風土により、両県の強みのある特産品を切れ目なく情報発信できたことにより、年間通じて一定レベルの集客を維持
- 両県の特産品をコラボしたヒット商品や両県知事による魅力あるイベント等による差別化を図った情報発信で、相乗的に両県の知名度が向上
- 以上のような取組により、入館者年間50万人という高いレベルで推移



共同アンテナショップの取組の成果を平成30年2月に両県の県議会に報告し、併せて「共同アンテナショップの継続」の方向で調整中についても報告

## リニューアルの経緯②

### 【平成30年度】不動産賃貸借契約の更新に係る交渉

- ・平成30年5月に両県議会へ「共同アンテナショップの継続方針」と「賃貸借契約の債務負担行為」について報告し、不動産賃貸借更新の交渉を本格化。
- ・最終的に、東京オリンピック・パラリンピックを控え、都内の不動産需要が高騰している中において、**従前と同様の条件（場所、面積等）で賃貸料は現状維持**という良好な条件で契約を更新。

### 【平成30年度】運営事業者の公募及び決定

- ・平成31年3月末の運営事業者（物販、飲食）の業務委託契約の期限が到来することを受け、平成30年7月に公募型プロポーザルを実施。
- ・今回の公募では、**開設からこれまでの取組が評価を受けていることから、現店舗の基本コンセプトを引き継ぐことを基本とした企画提案を募集。**
- ・公募型プロポーザルの結果としては、物販店舗は新しい民間事業者が選定され、飲食店舗は従前の民間事業者が継続となった。

# リニューアルの概要①

## 【平成31年度】

新

### 移住・しごと相談コーナー

県運営

- 産業振興・定住支援・県立ハローワークチーム及びふるさと鳥取県定住機構を東京本部から移転し、現在のワンストップ相談体制を継続
- 鳥取県6名、岡山県5名
- 岡山県との連携により毎日営業
- 夜間相談日を設定

新

### コワーキングスペース

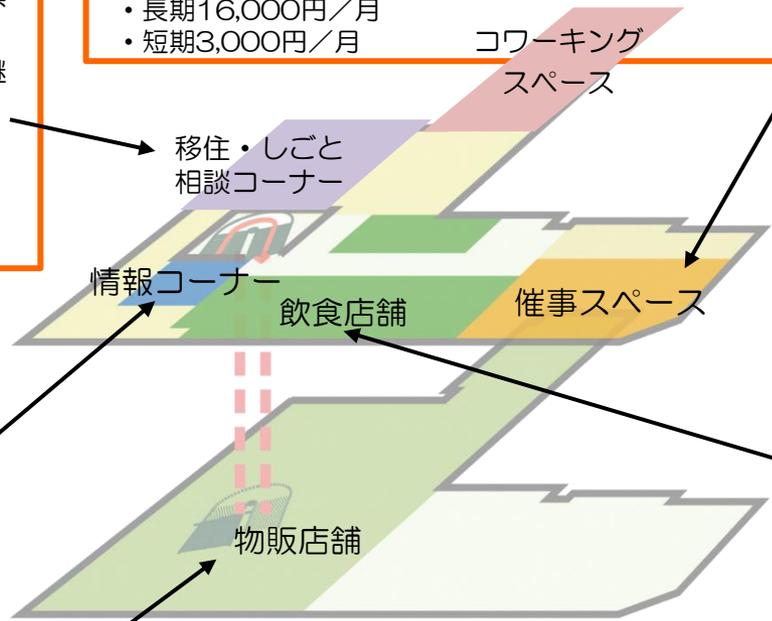
県運営

- 40㎡程度の共同スペース24席、時間内出入り自由
- 企業同士の交流促進
- wifi環境、プリンター、ロッカー、商談室あり
- マンスリー会員(50社想定)
- 1DAY利用可
- 長期16,000円/月
- 短期3,000円/月

### 催事スペース

県運営

- 物産展、伝統芸能の公演、相談会等、さまざまな用途に活用できるスペース
- 県内・非営利
  - 3時間 2,400円～
  - 全日 6,400円
- 88㎡、マイク設備あり



### 情報コーナー

県運営

- 観光等に関するパンフレット等、資料を自由に閲覧できるスペース
- カウンタースタッフによる個別相談対応

### 物販店舗

運営事業者

- 両県の優れた食材・食品その他の特産品を展示・販売
- 新商品等の試験販売(テストマーケティング)を実施

### <リニューアル内容>

- マルシェ(産地直送生鮮品)の実施
- 店内ディスプレイにより地元(生産者)情報等を提供
- キャッシュレス決済への対応

### 飲食店舗

運営(株)稲田屋本店

- 両県の地酒や県産食材・食品で作った飲食物を提供
- 同窓会、県人会のイベント対応
- 催事スペースとの一体利用可

### <リニューアル内容>

- 調理設備の強化による、ご当地グルメ等、提供メニューの活性化
- 内装の一部変更による、落ち着いた雰囲気醸成

# リニューアルの概要②

【平成31年度】リニューアルオープン記念イベントの実施



# 物販店舗(10:00～21:00)

店舗全景



○店舗面積約354㎡の広々とした店内で  
ゆっくりお買い物ができます。  
○年間を通して、多種多様な特産品が店内  
に溢れています。

商品取扱店数 最盛期約1,800点

○今回のリニューアルでは、店舗内中央にマル  
シェコーナーを設置し、地元直送の新鮮野菜  
を充実するとともに、店内ディスプレイに地元  
生産者の情報発信も行います。

イベントコーナー



プロモーションゾーン



# 飲食店舗(11:00~22:00 LO21:00)

店舗全景



ランチbuffエ



- 鳥取、岡山両県の旬の食材を洋風にアレンジして提供するビストロカフェ。
- ランチタイムは選ぶのも楽しいビュッフェスタイル、カフェタイムは旬のフルーツが山盛りのパフェ、ディナータイムは地酒、地ビールなどが地元の肴と一緒に楽しめます。
- 今回のリニューアルでは、天井部分を暗色に塗り替え落ち着いた雰囲気模様替えしたこと、厨房機器を増強し地元グルメを定番メニュー化しました。

お好みでつまみしるしで食べるももてなし家特製重 2,480円 (税別)



高級の鶏肉の「美味しい」を詰め込みました。おまかせの鶏肉と「美味しい」を詰め込みました。おまかせの鶏肉と「美味しい」を詰め込みました。おまかせの鶏肉と「美味しい」を詰め込みました。

ご当地グルメ カキオコ 1,080円 (税別)



紅ズワイ蟹重 1,680円 (税別)



ローストビーフプレート 1,480円 (税別)



お子様ランチ 500円 (税別)



岡山ばらずし 1,680円 (税別)



境港サーモンの二色丼 1,280円 (税別)



SET MENU ランチセットでどうぞ!

- ※単品でのご注文はできません
- DRINK  
 ・コーヒー (アイス/ホット) ・紅茶 (アイス/ホット)  
 ・アイスワッポン茶  
 ・コーラ・オレンジジュース ※280円 (税別)
- DESSERT  
 ミニジェラート 200円 (税別)

# 移住・しごとと相談コーナー(10:00~18:00)



- 今回のリニューアルで新設した機能。
- 専任スタッフが常駐し、移住と仕事の相談にワンストップで対応します。
- 年中無休で、毎週木、金、土曜日は夜間相談(~20時45分)も実施します。
- 岡山県と共同運営することにより、限られたマンパワーで週7日の対応を実現しました。



# コワーキングスペース(10:00~18:00)

スペース全景



- 今回のリニューアルで新設した機能。
- 都心の良好な立地に、月16,000円とリーズナブルな利用料金を設定。
- 鳥取、岡山両県の事業者に対し、情報収集や販路開拓などのビジネス拠点を提供。
- 共同利用形式のオープンスペースのほか、商談にも使える個室のミーティングルームも完備。

ミーティングルーム



スペース全景



# 情報コーナー(10:00~18:00)

相談窓口

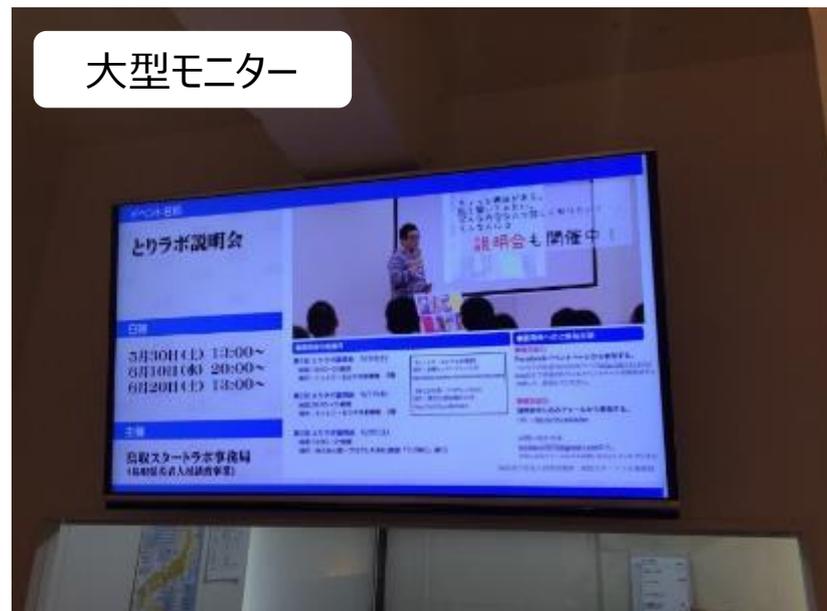


- 常駐の専任スタッフが観光案内、観光相談。
- 鳥取、岡山両県の観光、イベント情報を掲載したパンフレットを配架。
- 80インチの大型モニターを設置し、鳥取、岡山両県の観光、イベント情報を発信。
- 開設から平成30年度まで延べ約6,000件(年間1,200件程度)、観光等の案内や相談を実施。

パンフレット棚



大型モニター



# 催事スペース(使用例)

観光物産展



- 物産・観光展から座学のセミナーなど、様々なイベントに利用が可能な約100㎡の広いスペースを設置。
- 開設から平成30年度まで延べ約1,100件程度の利用があり、県産品のPR、同窓会、移住・交流のイベント、観光情報説明会等、情報発信の取組に利用されました。

移住相談会



観光セミナー



# 今後の取組課題

- **情報発信を中心としたアンテナショップの運営と民間企業としての利益を求める経営とのベストなバランスの保持**
- **訪日外国人観光客等の誘客促進に向けた情報発信等の取組の強化**
- **新たに追加した機能（移住の推進、ハローワーク、コワーキングスペース）の利用促進とアンテナショップ内の様々な機能を連携させた情報発信拠点の構築**

A large, crowded indoor event space, likely a trade show or exhibition. The room is filled with people, many of whom are holding cameras and smartphones, suggesting a media or press event. In the background, there are glass display cases and a banner for "SUNABA COFFEE" with Japanese text. The lighting is bright, and the overall atmosphere is busy and professional.

ご静聴ありがとうございました。